佐久島体験マップ

Artfun21
三河・佐久島アートプラン21

佐久島は「にほんの里100選」に選ばれました

佐久島の地理

愛知県下に三島ある有人島は、すべておだやかな三河湾内に位置する、西尾市に色町佐久島はその中で、最大の島である。

約一三〇〇万年前に海中で堆積し、各所からその時代の化石が多数採取されている。

面積は一三六ヘクタール、海岸線の総延長は約十二キロメートル。

島名の由来

崇神天皇の頃（前一世紀）、伊勢の斎宮の姫に「作彦」という臣がいた。伊勢参宮の島を開発に携われ、その業績を称えられ、その名前が島名の由来となったと伝えられている。

また、文献の中に初めて佐久島の名前が現れるのは、室町時代に成立した『源氏物語』の注釈書『河海抄』で、「佐久島」と書かれた木簡が出土したことから、奈良時代の頃には、佐久島と呼ばれていたことが伝えられている。

島の歴史

あまり知られていないが、佐久島の歴史は古い。発掘によって多くの石器や土器が発見されている。弥生時代の遺跡としては、三ヶ所の貝塚が見つかっており、世紀から二世紀にかけてのものとされている。

海と生活の場とした海部族の末裔たちによって、江戸時代には海運業で繁栄した。八剱神社本殿や八百護祭り、西の盛踊りは、その頃の佐久島独自の文化を今に伝えている。昭和二十九（一九五四）年、佐久島は一色町に編入合併、平成（一九八九）年四月一日町・幡豆町とともに西尾市に編入合併された。

佐久島太鼓

佐久島太鼓は昭和三九年から八月十一日の祭礼最終日の夜に行われる「八百護祭り」の奉納行事である。

「般若の和太鼓」と「神楽太鼓」の二種類があり、「般若の和太鼓」は、一九七〇年（昭和四五年）に、「神楽太鼓」は、一九七四年（昭和四九年）に、それぞれ誕生した。

祭り「白山社」（十月七日の「秋の祭り」）の奉納行事で、披露されている。

佐久島太鼓の「力」は、迫力ある力強さ、「技」は、正確なリズムと技術、「心」は、一体感を表現している。

島の交通

佐久島を訪れるには、伊勢の渡船が唯一の交通手段となっている。

佐久島には、一色港と佐久島港の二つの港があり、一色港からは約二十分、佐久島港からは約十分で佐久島に到着する。

佐久島を知る

西と東

佐久島の人々は、古くから島の東西を「西」と「東」に分けて暮らしている。

島の「西」と「東」は、「西屋敷」のことを指し、東と西の境界線は、ほぼ中央を南北に走る一本の道路にあり、集落は「西屋敷」、「東屋敷」、「浦屋敷」の三つに分かれている。

「西屋敷」と「東屋敷」では、伝統行事や祭礼の仕方に多くの違いがあるなど、特徴がある。

島の経済

海に面した集落と、三河湾国定公園の中にある風光明媚さ、島の主な産業は、漁業と観光業である。島民の多くは漁業に従事しており、漁業の中心は船びき網漁である。

また、三月から五月にかけてのアサリ漁は島民の収入を支えている。

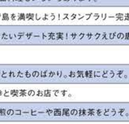
「佐久島アート」を引っ提げ「アートの島」として、老若男女区別なく、実力派作家による作品が展示されている。

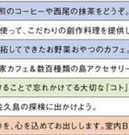
祭りとアートに出会う島

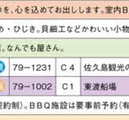
三河・佐久島アートプラン21

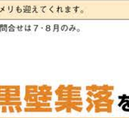
高齢化と過疎化の問題を抱える佐久島は、平成十三年度から地域活性化を目指し、「祭りとアート」をキーワードに問題を通じてさまざまなイベントが開催されている。

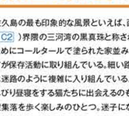
アートプロジェクトの実施にあたっては、島民一人ひとりが主役となり、島民、来島者の交流のために、美術家のアイデアとパワーが島全体を包み込むことで、島民自身の自信へとつながっていくことを目指している。

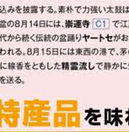


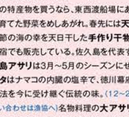


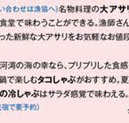












施設 Information

		地図No.	施設名		TEL（0563）	セールスポイント	位置
佐久島観光の会加盟施設	宿泊	①	さざなみ	要	79−1234	自然に囲まれ、展望風呂からの夕日と朝の山のさえぎりが楽しめる宿。	C 5
		②	市兵衛	要	79−1103	家庭的な雰囲気で、新鮮な海の幸をお召し上がりください。	C 4
		③	佐久島観	要	79−1007	地元の海の幸をお客様のご要望に合わせてご提供します。気軽におくつろぎ下さい。	C 4
		④	鈴木屋旅館	要	79−1221	佐久島ならではの、獲れたての魚料理を活かした活魚料理が自慢の宿。	C 3
		⑤	ゆきや	要	79−1020	日本一新鮮な朝ごはんの宿と食堂。定置網漁体験もできます。	C 4
		⑥	千鳥		79−1008	放情豊かな海辺の宿。新鮮、獲れたての海の幸でおもてなし。	C 4
		⑦	丸八	要	090−9026−4471	素泊まりの宿。大浦海水浴場の入口前。	B 4
	食事・カフェ	⑧	Cafe＆BAR「ぶえる」	要	78−2014	海を眺めながら、パスタとスイーツを楽しめる Cafe＆BAR です。テイクアウトや夜の営業も。	C 5
		⑨	ごはん屋 海	要	79−1910	題れ家のような落ち着いた雰囲気の古民家で旬の海の幸をおいしく召し上がれ。	C 5
		⑩	喫茶 ぺんてん	要	79−1452	東港のすぐ前。散策の休憩にコーヒーはいかがですか。夏はかき氷、ソフトクリームもどうぞ。	C 4
		⑪	鈴屋	要	79−1044	元祖大あさり丼の店。海の幸の一品料理もいろいろあります。	C 4
		⑫	レンタル自転車 愛ランド	要	79−1456	お天気の良い日は、サイクリングで島を満喫しよう！スタンプラリー完走賞もあります。	C 1 C 4
		⑬	みぎわ	要	79−1450	ソフトクリームのせたかき氷、冷たいデザート充実！サクサクえびの唐揚げや海鮮焼もどうぞ。	B 3
		⑭	ゆきや（海の家）	要	79−1433	BBQと貸自転車をどうぞ。 ※1	B 3
		⑮	なぎさ	要	79−1062	BBQ、弁当、定食すべて佐久島でとれたものばかり。お気軽にどうぞ。 ※1	B 3
		⑯	cafe OLEGALE	要	090−1232−7484	素潜り漁師の店主が獲った海の幸と喫茶のお店です。	B 2
		⑰	カフェ 百一	要	090−4187−6271	黒壁の家で海を見ながら、自家焙煎のコーヒーや西尾の抹茶をどうぞ。	C 1
		⑱	オーシャンキッチン にゃん。	要	090−7432−7551	漁師の店!! 地元でとれた魚介類を使って、こだわりの創作料理を提供します。	C 1
		⑲	Oyaoyacafe もんぺをあげ	要	080−3643−5083	やぶに囲われた民家をみんなで開拓してできたお野菜おやつのカフェ。水・木定休。	C 2
		⑳	ぶひぬかぞ Cafe 紅玉房	要	080−4277−5543	名物"幻のふわふわかき氷"。古民家カフェ＆数百種類の島アクセサリーを取り揃えたお土産屋。	B 3
	お店	㉑	模っこの家	要	090−7683−9446	「一昔前の暮らし体験」手間暇かけることで忘れかけてる大切な「コト」思い出しませんか？（要予約）	C 2
		㉒	遊々	要	79−1432	レンタル自転車屋、走って遊んで佐久島の探検に出かけよう。	C 1 C 4
	宿泊	㉓	魚壌	要	79−1111	潮の香りいっぱいの新鮮な海の幸を、心を込めてお出しします。室内BBQ有	C 4
	お店	㉔	しーちゃんの里	要	79−1545	佐久島のおみやげはここで。わかめ・ひじき、貝細工などかわいい小物もありますよ。	C 1
		㉕	つるや	要	79−1021	弁天サロンの坂の上の黄色い お店。なんでも屋さん。	C 2
その他		佐久島診療所			79−1414	B3	西三河漁協佐久島支所 要 79−1231	C 4	佐久島観光の会 ※2 要 79−1427	C 3
		佐久島行船のりば（一色港）			72−8284		西尾船場 西 79−1002	C 1	東港船場 東 79−1006	C 4
		佐久島クラインガルテン		要	79−1223	宿泊滞在型農業体験施設（年間契約制）。BBQ施設は要事前予約（有料）	B 2
海の家		さざなみ		要	79−1234	三河湾とこでも送迎。たまにスナメリも泳ぎ寄せます。	

※1 食事処⑭、⑮は海水浴シーズンの営業となります。 ※2 佐久島観光の会へのお問合せは7・8月のみ。

防災情報

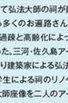
- 島内放送をよく聞く
- 放送は状況によっては聞こえづらいこともあるので注意
- 津波待避場所や近くの高台に避難！
- 安全が確認された後、避難場所の佐久島小学校へ移動

■ 青色…津波浸水想定区域
◆ 地震／想定最大震度7
◆ 津波／津波の高さ 5.1m（想定）
津波到達時間 41分

●佐久島散歩のほっとできる休憩所
弁天サロン TEL.0563-78-2001
※施設の詳細は情報面「アート に出会う」をご覧ください。

●佐久島のこと、アートプランのこともっと知りたい！
佐久島公式ウェブサイト sakushima.com
三河・佐久島アートプラン21ウェブサイト
www.m-mole.com/sakushima/

●交通に関するお問合せ
佐久島行船のりば
TEL.0563-72-8284
西尾市役所佐久島振興課
TEL.0563-72-9607



●三河・佐久島アートプラン21に関するお問合せ
西尾市役所佐久島振興課
TEL.0563-72-9607
オフィスマッチングモウル
TEL.0564-58-2787

※佐久島体験マップ
発行：西尾市
企画・制作・編集：オフィスマッチングモウル
地図制作：松田隼、写真提供：吉村聖文
協力：佐久島のみなさん
2002年7月発行／2017年3月31日15版発行 70,000部

佐久島散策マップ ちずっ子アプリ

アート に出会う

三河・佐久島アートプラン21では、年数回現代美術のアーティストによる展覧会やワークショップを開催している。西屋敷にある**弁天サロン**（B3・E4・C2）※1は、島内に常設展示されたアート作品を巡る「佐久島アート・ピクニック」※2 の休憩所として気軽にご利用いただける公共施設。

2階屋根裏の間では、島の歴史、文化を紹介した「島民展」を常時開催中。

弁天サロン

※1 弁天サロン／午前9時〜午後5時、月曜休館（月曜祝日の場合、祝日明けの最初の平日休館）、12/29〜1/3休館、7-8月は無休、放送無線のない、西浦港船場から徒歩4分、入場無料。

※2 佐久島アート・ピクニック／島内に点在する常設展示作品をめぐるスタンプラリー、東西渡船場、弁天サロンでスタンプシートを無料配布、東西渡船場のどちらかからスタートしてもOK。

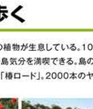
現在、佐久島では過去のアート・プロジェクトの成果として常設展示作品を島内各所で鑑賞・体験することができる、波船を降りた**西渡船場待合室**（C1）から作品巡りの小さな旅がスタート。西渡船場にある、アートな"顔出し看板"で佐久島観光気分を盛り上げて（B3 C1）、西集落には「**ガリバーの目**」（C4 C1）や、築百年の空き家をまるごと作品化した「**佐久島空家計画／大黒邸**」（C2 ※3、「**大和屋観音**」（B3 C2））が点在しています。黒壁集落を通り抜けた石垣海岸の、大人気アートスポット「**おひるねハウス**」（B3 C2）でゆったりした佐久島時間を、足を伸ばした白山神社の静かな森の中には「**空の水ー山**」（B2 B2）が仏さまたちの訪れといっしょにたたずんでいる。

大黒邸

空の水ー山

※3 大黒邸／邸は年中無休で公開中、室内見学は当日弁天サロンで要申込、入場無料。

佐久島の東西を結ぶフラワーロード沿いでは、**クラインガルテン内のアート作品**（I1 B2）を楽しむことが出来る、大浦海水浴場の「**カモメの駐車場**」（I3 B3）や「**すわるとこプロジェクト**」（I4 B3）で海辺の風景を楽しもう。大島へ向かう桟橋途中にある「**イーストハウス**」（休館マップ表紙参照／I5 C4）の全長60メートルのベンチや東屋でひとやすみしよう。大島にある「**佐久島のお庭**」（I6 D4）のかわいい小道をたどれば、いろんな作品がお出迎えしてくれる。東地区には、展望台化個の高千谷にある座ることのできる作品「**屋を想う椅子**」（I7 A4）で静かに海をながめていたい、そして筒島手前の林をぬけ、遥美半島を見渡す高台に建つ3つの建築作品「**佐久島の秘密基地**／**アボロ**」（I8 D5）で新しい佐久島風景に出会おう。



佐久島の秘密基地／アボロ

常設展示作品を巡る佐久島アート・ピクニックの所要時間は半日程度。

黒壁集落 を歩く

佐久島の最も印象的な風景といえば、西地区の崇運寺（C1）から大黒邸（I7 C2）界隈の三河湾の黒瓦と粋おれる**黒壁集落**だ。潮風から建物を守るためにコールタールで塗られた家並みの景観を残すため、島民やボランティアが保存活動に取り組んでいる。細い路地は迷路のように複雑に入り組んでいるため、のんびり探索をする島民にも出会えるのも黒壁集落を歩く楽しみのひとつ。逐子になったら飲食しているおばあちゃんに道をたずねてみよう。

黒壁集落

島 で遊ぶ

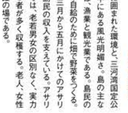
季節の魚をねらう釣り好きには、大島にある**佐久島海釣りセンター**（D4）がおすすめ。（午前7時〜午後6時、10月〜3月は午後5時／入場無料）

大浦海水浴場

大浦海水浴場（B3）では春の潮干狩りを楽しもう。入浴券は期干狩り場で購入。

（問い合せは西三河漁協佐久島支所へ。3〜6月頃／有料）

夏は県内随指の美しい海で海水浴をどうぞ。更衣室・シャワー・トイレ完備。（7/1〜8/31）

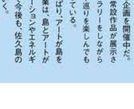


貝殻染め

風をきって島巡りするなら**レンタル自転車**がおすすめ。交通ルールを守ってサイクリングを楽しもう（ハイキングロード等山の中は未舗装なので要注意）。

クレオパトラにも愛されたと伝えられる貝紫染めは、つとめて貝から少しずつ採取することができないため貴重な染料を使用している。佐久島では、そんなめずらしい**貝紫染め**を島内の工房でインストラクターの指導で挑戦してみよう（別ページ施設概要欄）。

2012年にオープンした体験型農業施設**佐久島クラインガルテン**（I1 B2）※4 にはバーベキュー施設が併設されている。全天候型の屋根付き東屋で、海の幸のバーベキューを楽しめる。



クラインガルテン バーベキュー施設

※4 佐久島クラインガルテン／午前9時〜午後5時、月曜休館（月曜祝日の場合、週明けの最初の平日休館）、12/29〜1/3休館、7/20〜8/20は開休。

弘法道 を歩く

普なながら弘法さんの碑

大正5（1916）年、佐久島に八十八ヶ所の写し霊場として弘法大師の祠が建造され、戦前には島外から多くのお遍路さんが訪れにぎわった が、近年過疎と高齢化によって縮小をよぎなくされていた。三河・佐久島アートプラン21では、3年に渡り建築家による弘法の祠の新設、建築を学ぶ学生による祠のリノベーション、失われた弘法大師座像をこ人のアーティストが制作する「佐久島弘法プロジェクト」を行い、2012年春、数々年振りに**佐久島弘法道切**※5が復活した。毎年旧暦の3月21日には島中の祠に花が飾られ、お菓子などを参拝者にふるまう「お接待」が行われている。

※5 佐久島弘法道切／八十八弘法の道中にある19ヶ所のポイントをめぐるスタンプラリー。東西渡船場、弁天サロンでスタンプシートを無料配布中。各開始地点と御道寺のどちらからスタートしてもOK。

富士山弘法道の「青」

フラワーロードの祠はヤギが島どころになっている

アーティストによる弘法大師座像

筒島入口にある「サンカク」

大山弘法道の「対」は学生作品

自然 を歩く

島内には環地性、海岸性の植物が生息している。10キロしか離れていない本土と異なる植生、南の島気分を満喫できる、島の北側の東西をつらぬく**ハイキングロード**は別名「棒ロード」。2000本のヤブツバキがトンネルのように続く。（3〜4月頃）

ハイキングロードのヤブツバキ

丹梨海岸のハマダイコン

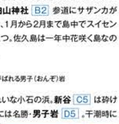
大島・佐久島のお庭の梅園

春を告げるのは、大島の「**佐久島のお庭**」（I6 D4）にある**梅園**だ。紅白の梅の香りに包まれてかわいい小道を歩こう。（2〜3月頃）4月になると咲き出すのが**ハマダイコン**。島内各所で可憐な花を咲かせる、特に**石畳**（C2）と**丹梨海岸**（B5）の群生は感動的だ。島の東西を結ぶ**フラワーロード**には、佐久島小中学校の子どもが手作りした花々が散策の目を楽しませてくれる。12月には**白山神社**（B2）参道にサザンカが咲き出し、1月から2月末で島中でスイセンが香りとう。佐久島は一年中花咲く島なのである。

石畳

軍艦岩とも呼ばれる男子（おんぞ）岩

海岸線もみどころが多い、**丹梨**（B5）はきれいな小石の浜、**新谷**（C5）は砂けた貝殻が浜辺を薄紫に染める。筒島の手前には名勝・**男子岩**（D5）、干潮時には歩いていくことができる、潜りやすいので**珍島**（B3）、**大明神**（D3）、**高千谷**（A4）、**大島南側**（D4）は干潮になると風景が一変し「島の洗濯板」のような岩盤が壮観だ。磯の生き物を観察するのも楽しい。



筒島

筒島の**弁財天社**（D5）の東の階は竹林になっていて、島を半周できる歩道がつくられている。竹林が突然開けて海を見晴らせる場所もあり、気持ちいい散策コースのひとつである。

筒島東の階の竹林

祭り に出会う

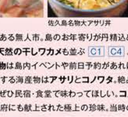
信仰の島、佐久島の一年は、毎年1月8日に**八師神社**（B4）の**八目講祭り**から始まる。「鬼」の字が書かれた八角形に厄男が邪気払いの弓を射ると、島民は厄払いに鬼の骨を奪い合う、250年の歴史を持つ伝統の祭りだ。

八師神社の八目講祭り

佐久島太鼓

島の祭りの中心はいずれも**佐久島太鼓**の奉納である。男たちは見事な太鼓の打ち込みを披露する。裏朴で力強い太鼓は一度聴けば忘れられない迫力がある。

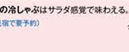
お盆の8月14日は、**崇運寺**（C1）で江戸時代から続く伝統の盆踊り**やートセがおこなわれる。8月15日には東西の港で、家の舟に綾春をともした**精霊流し**で静かに先祖を送る。



西の盆踊りやートセ

特産品 を味わう

東港船場のとれたて菜の市



干物

佐久島名物あさサリ丼

島の特産物を買うなら、東西渡船場にある**島人市**。島のお年寄りが月精込めて育てた野菜をめしあがれ。春先には**天然の干しワカメ**も並ぶ（C1 C4）。季節の海の幸を天日干しした**手作り干物**は島内イベント中前日予約がおれば民宿でも販売している。佐久島を代表する海産物は**アサリとコノワタ**。絶品の**島アサリ**は3月〜5月のシーズンごとに民宿・食堂で味わってほしい。**コノワタ**はナマコの内臓の塩辛で、徳川幕府にも献上された極上の珍味。当時の製法を今に受け継ぐ伝統の味。（12〜2月頃定番商。問い合せは浦協へ）各物料理の**大アサリ丼**は、一年中食堂で味わうことができる。漁師さんが素潜りで採った新鮮な大アサリをお気軽なお値段で。

三河湾の海の幸なら、プリプリした食感をへルシーな鍋で楽しむ**タコしゃぶ**がおすすめ。夏期限定の**タコの冷しゃぶ**はサラダ感覚で味わえる。（民宿で要予約）

タコの冷しゃぶ

歴史 を知る

佐久島には古墳時代後期の古墳が、かつて50基あまり確認されている。その代表が**山の神塚古墳**（B2）だ。6世紀後半〜7世紀の横穴内墳、漁業をなりわいとした海部族の長の墓とされ、石材からは美しい碧玉・金環が出土した。他に**秋葉山古墳**（B4）、**石畳第一号古墳**（C2）を見学することができる。**古代製塩遺跡**（B3）からは、製塩に使用した土器片が多数出土している。

大山にある山の神塚古墳

八師神社本殿

1024年創建と伝えられる八師神社（B4）には、江戸時代初期に再建された**八師神社本殿・神明社本殿**が残っている。現在は、八日講と秋の大祭の折に公開される愛知県指定有形文化財。

阿弥陀寺境音堂

阿弥陀寺境内（B4）にある観音堂の寄木造の**如意輪観音座像**は、1600年の創建あり、愛知県指定有形文化財である。離島の観音信仰の貴重な仏像だが現在は非公開。

1192年、後鳥羽上皇の第七皇子と伝えられる青蓮院にまつわる伝説があったといわれる**崇運寺**（C1）には、戦国時代の板碑があり、徳川家康が滞在したという言い伝えも残っている。

崇運寺

筒島弁財天（D5）は、蒲郡竹島の八百富神社と豊川三明寺に並ぶ**三河三弁天**のひとつ。毎年8月16日には弁財天祭典がおこなわれるが、本開帳（巳年）と合開帳（亥年）の6年に1度しか弁財天の姿を拝むことができない。弁財天祭典当日には、社務所で**御朱印**の押印をしてもらえる他、境内にある**守宝神祠**（B2）では「頭は人、体は蛇」というご神体も拝観できる。

筒島弁財天社

願い石

筒島では、弁天さんへの願い事を平らな石に記す「**願い石の奉納**」が行われている。お願いごとがかなった時は、お礼石を奉納して感謝の気持ちを伝える。